

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	東海支部	(2) 記載者氏名:	中世古直子	会員番号:	6730	事務局整理記入欄	東海 - 10
分水嶺区分	W022月夜沢峠～W023鎌ヶ峰 (その1,東部)	(3) 山行日:	2004年	3月	28日	(4) 天候	快晴 積雪1.5m

(5) 参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

伊藤 武	13962						
中世古 直子	6730						
梶田 民雄	7266						
中野 八千代	13769						
計				4名			
計				0名			

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	月夜沢峠～鎌ヶ峰間の稜線は屈曲多く、小ピークが乱立し、急峻な部分もあり、3回に分けての踏査となった。												
アプローチ:	東海市～名古屋市～春日井市～藪原～寄合渡～川浦(往復)												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	月夜沢峠	寄合渡							1,700				
分水嶺到達点W022	同上	寄合渡							1,700	前日	8:00	B-4	
	標高点	寄合渡							1,834	8:40		B-4	
W023	標高点西100m (往路を戻る)	寄合渡	137	37	43.0	36	1	13.1	1,861	10:00	10:30	B-4	
分水嶺離別点W022	月夜沢峠	寄合渡								12:50	14:30		
歩行終了点	川浦	寄合渡								17:30			
(日本測地系)										総歩行時間(休憩時間を除く):		8時間00分	

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
					今回の区間に三角点なし

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

峠の西側に道祖神と御岳神社の碑があるほか人工施設は見当たらない。 踏み跡はこの碑までの約10mで尽きる。

(9) 水および植生に関連した特記事項

ダケカンバ、シラビソなどの疎林、林床は2mを越すササが密生し、無雪期の踏査は困難を極めるだろう。

(10) その他の特記事項

月夜沢峠までの林道(雪上)歩行は、報告書(東海 - 07)の月夜沢峠(W022)～椽洞(W021)の記録と共通

(11) 写真の添付: (有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: